

TDC

東京歯科大学同窓会会報

208

1982年 8 月

東京歯科大学同窓会会報 第208号

目次

巻頭言	1
お知らせ	2
本部短信	3～4
逝去会員	5
昭和58年度東京歯科大学入学試験案内	6～7
母校だより	8～9
先輩訪問	10～12
父兄会	13
トビックス	14～15
支部のうごき	16
クラス会だより	17～23
すいどうばし	24～25
へんしゅうこうき	26

(表紙・カット 菊池 豊)



千華楼金の彫刻(1)

千葉の新校舎には5つの彫刻が置かれているが、これらを順次紹介する。



厚生棟

5枚の時間

この作品は彫刻と絵画をミックスしたいわばクロスオーバーな作品である。めくれあがってゆく5枚の鉄板は造形の中に時間を表現している。彫刻が素材の色彩からだけ成りたつものではなく、周囲の環境から判断された関係の中にその存在があるというひとつの芸術に対する証しである。

(伊藤隆康)



[グラビア撮影：松井恭平]

巻頭言



青春譜

——水道橋校舎の新築に添えて——

同窓会副会長 板垣正太郎

こんな題名の詩があった。それはある有名な米国の詩人が日本占領直後のマッカーサー元帥に贈ったもので、それを松下幸之助氏が翻訳させたものだという。その冒頭に、

青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、燃ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る。

日本最古の歯科大学、日本最古の同窓会が、唯その歴史を誇るのではなく、夫々を支える同窓諸兄が、信念と共に若く、自信と共に若く、希望ある限り若く、創設者高山紀斉先生、血脇守之助先生の精気ある魂を伝承して、この由緒ある水道橋に、我々の老ゆることを知らない壮大違力を発端出来る心の故郷が顕現するよう、百尺竿頭を更に一步進めていただきたい。

お知らせ

○ TDC卒後研修セミナー '82プログラム

総合的な視点にたった歯科診療

加齢への対応〔Ⅲ〕生体と修復の調和を求めて

◇第7回〔昭和57年9月18日(土)〕

■ 加齢変化の周辺をさぐる〈4〉

9:30~10:50 2. 少数歯残存症例をめぐって

河原 俊郎 (千葉県・開業)

10:50~12:20

関根 弘 (東歯大・補綴)

13:20~15:50

染谷成一郎 (東京都・開業)

16:00~16:30 ◇'82のまとめと'83の展望

卒後研修特別委員会

◇受講証の授与、会長挨拶

ところ 経団連会館14階経団連ホール

(地下鉄丸の内線・千代田線・大手町駅、国電東京駅下車)

○ 第217回東京歯科大学学会総会

とき 昭和57年11月6日(土), 7日(日)

ところ 東京歯科大学 千葉校舎

○ 第11回同窓会主催全国ゴルフ大会

とき 昭和57年11月12日(金)

ところ 袖ヶ浦カントリークラブ

詳細は前号(207号)をごらん下さい。

○ 昭和57年度東京歯科大学同窓会評議員会・後援会総会・定時総会・懇親会

とき 昭和57年11月13日(土)

ところ 高輪プリンスホテル

昭和58年度東京歯科大学入学試験

試験日 昭和58年1月29日(土), 30日(日), 31日(月)

試験場 東京歯科大学 千葉校舎

願書提出期間 昭和57年12月13日(月)~昭和58年1月20日(木)

試験内容 学科試験(英語, 数学, 理科), 適性試験
小論文試験, 面接試験, 健康診断

○入学試験期日ならびに学科試験科目の変更にご注意下さい。

○昭和58年度入学試験要項・東京歯科大学要覧をご入用の方は、東京歯科大学(千葉校舎)教務課へ1,500円(郵送の場合は350円分の切手を同封)を添えてお申し込み下さい。

なお、水道橋校舎でも直接受けとられる方にはお頒け致します。

本部短信

1) 行事出張, その他

- 5月10日 卒後研修特別委員会(全体委員会)
(注 従来の合同委員会を全体委員会に改称)
- 11日 役員打合会(伊丹副会長, 福本, 坂, 天野, 佐々木, 津島, 各理事)
- 13日 役員打合会(共済部担当)
- 15日 卒後研修セミナー(第4回)
- 17日 広報部委員会(編集)
- 19日 学部委員会
- 20日 卒後研修特別委員会('83プログラム委員会)
- 21日 役員打合会(共済部担当)
- 22日 東北地域支部連合会総会 板垣副会長, 斎藤理事出張
- 22日 静岡県支部総会 伊丹副会長, 伊藤理事出張
- 22日 渋谷支部懇談会 安嶋副会長出張
- 22日 理事会
- 27日 埼玉県支部総会 安嶋副会長出張
- 28日 四谷支部総会 安嶋副会長出張
- 29日 全国歯科大学同窓, 校友会懇話会
河邊会長, 伊丹副会長, 福本, 坂, 天野各理事出張
- 29日 父兄会総会 安嶋副会長出張
- 6月4日 役員打合会(共済部担当)
- 7日 卒後研修特別委員会('83プログラム委員会)
- 9日 役員打合会(共済部担当)
- 12日 秋田県支部総会 安嶋副会長出張
- 14日 卒後研修特別委員会('83プログラム委員会)
- 15日 常任理事会
- 16日 広報部委員会(企画)
- 19日 卒後研修セミナー(第5回)
- 19日 福島県支部総会 安嶋副会長出張
- 24日 役員打合会(会長, 副会長, 総務部,

渉外部担当理事)

- 27日 広島県支部総会 伊丹副会長出張
- 28日 卒後研修セミナー講師打合会
- 28日 役員打合会(共済部担当理事)
- 7月3日 役員打合会(会計部担当理事)
- 6日 法人役員, 教授懇談会 河邊会長出席
- 6日 卒後研修特別委員会('83プログラム委員会)
- 7日 共済部委員会
- 10日 信越地域支部連合会総会 伊丹副会長, 浜野, 池上各理事出張
- 10日 城北六区連合会懇談会 安嶋副会長出張
- 10日 } 岡山, 兵庫県支部合同大会 河邊会
11日 } 長, 山脇副会長出張
- 10日 理事会
- 14日 広報部委員会(編集)
- 17日 卒後研修セミナー(第6回)
- 20日 卒後研修特別委員会(全体委員会)
- 22日 卒後研修特別委員会('83プログラム委員会)
- 24日 北陸地域支部連合会総会 井上名誉会長, 梅田, 仲谷各理事出張
- 31日 東海地域支部連合会総会 河邊会長
滝監事, 菊池, 伊藤理事出張

2) 支部長交替

- 町田支部 笠井 康弘(昭30.3卒)
(前)宮下 昭寿(昭24.3卒)
- 鹿児島県支部 下原 朝光(昭10.3卒)
(前)浜田謹之助(昭5.3卒)
(以上交替57年4月1日付)
- 埼玉県支部 海野 陽(昭20.9卒)
(前)加島 忠道(昭14.3卒)
(昭和57年5月27日交替)
- 四谷支部 佐々木利文(昭33.3卒)
(前)柳沢 旭(昭13.3卒)
(57年5月28日付交替)

本部短信

宮城県支部 佐藤 温二(昭20.9卒)
(前)大塚 正樹(昭26.3卒)
(57年6月17日付交替)

3) 罹災会員

杉並支部 原田 公雄(昭29卒)
(昭57.5.1.類焼により診療所半焼)
岩手県支部 吉田 充(昭37.3卒)
(昭57.5.31.集中豪雨床上浸水)
同 吉田 阿子(昭37.3卒)
(昭57.5.31.集中豪雨床上浸水)

昭和57年度

東京歯科大学同窓会評議員会、後援会総会、定時総会、懇親会日程

1. 日時 昭和57年11月13日(土)
午前10時から
2. 会場 高輪プリンスホテル
港区高輪3-13-1

電話代表(03)447-1111

3. 日程

区分	時間
評議員会	午前10時00分～午後2時30分
後援会総会	午後2時40分～午後3時30分
定時総会	午後3時40分～午後5時40分
懇親会	午後6時00分～午後8時00分

名簿編集委員会委員

氏名
安嶋 宣忠
中久喜 喬
梅田 昭夫
山本 啓介
菊池 豊
櫻井 善忠
溝上 隆男
古川 正
薬師寺 仁
松井 恭平
林 量一

会報第206号(4月発行)に各種委員会の新委員をご紹介をいたしました。去る7月7日共済部委員会を開催、次のとおり委員長並びに副委員長が選任されましたのでお知らせいたします。

共済部委員会

委員長 阿保喜七郎氏
副委員長 生田 厚康氏

お詫びと訂正

前号207号(6月)の第4次日歯山崎執行部新役員決定の文中においてご氏名の印刷ミスがありました。ここにお詫び申し上げるとともに訂正させていただきます。

P5下から10行目 関英男君は 岡英男君です

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し
心からご冥福をお祈り申し上げます。 (敬称略・届出順)

●昭 13 卒 尾張支部	亀谷 良雄 (67才) 〒456 名古屋市熱田区神宮 2-10-4	胃 癌	57. 4. 12
●医 学 校 東 信 支 部	島田 金市 (88才) 〒386 上田市中央 4-8-8	脳 血 栓	57. 4. 15
●医 学 校 福岡県支部	澁江 悦治 (84才) 〒830-11 福岡県三井郡北野町大字今山509	悪 性 貧 血	57. 4. 11
●昭 9 卒 福島県支部	宇内 開治 (76才) 〒966 喜多方市沼田6983	尿 毒 症	57. 4. 25
●推 薦 岡山県支部	奥 富子 (74才) 〒708-04 岡山県苫田郡大津町久田下原135	心 不 全	57. 5. 3
●昭 16 卒 岡山県支部	柳田 武 〒657 神戸市灘区北通り5-6-18	急 性 腎 不 全	57. 4. 28
●大 15 卒 山口県支部	松田 俊男 (82才) 〒740-11 山口県玖珂郡美和町大字浜前504	肺 炎	57. 5. 5
●大 14 卒 武蔵野支部	伊藤 友彦 (79才) 〒180 武蔵野市吉祥寺北町1-1-14	心 筋 梗 塞	57. 5. 14
●昭 7 卒 西多摩支部	鈴木 三国 (72才) 〒190-11 東京都西多摩郡羽村町川崎1359-15	肺 炎	57. 5. 15
●昭 20.9 卒 栃木県支部	長竹 喜三郎 (58才) 〒326 足利市福居町199	心 筋 硬 塞	57. 5. 14
●推 薦 群馬県支部	山口 長太郎 (85才) 〒370 高崎市巾着町16	腸 閉 塞	57. 5. 17
●推 薦 広島県支部	寺内 忠夫 (85才) 〒737-01 呉市広町中新開9957	心 不 全	57. 5. 20
●推 薦 足立支部	堀田 徳次郎 (91才) 〒120 足立区綾瀬 4-5-16	心 不 全	56. 3. 17
●昭 11 卒 芝 支 部	中條 正道 (67才) 〒105 港区西新橋 1-11-6	心 筋 硬 塞	57. 5. 23
●昭 10 卒 大阪支部	広田 弘 (75才) 〒598 大阪府泉佐野市上町 945-6	脳 硬 塞	57. 3. 30
●推 薦 大森支部	村田 実 (86才) 〒145 大田区北千束 1-46-1	老 衰	57. 5. 27
●推 薦 芝 支 部	福田 若松 (87才) 〒108 港区三田 4-19-22	脳 硬 塞	57. 5. 29
●昭 7 卒 静岡県支部	木村 幸人 (72才) 〒424 清水市銀座 13-12	パーキンソン病	57. 5. 31
●大 5 卒 福岡県支部	北島 憲 (88才) 〒801 北九州市門司区黒川高砂町543	老 衰	57. 5. 16
●昭 5 卒 日本橋支部	色川 雅通 (77才) 〒248 鎌倉市笛田2131-7	肺 気 腫	57. 6. 19

昭和58年度東京歯科大学入学試験案内

来年度の母校の入学試験の出願期間、試験期日および試験内容などが次のように決まりました。

詳細は9月上旬に発行の「入学試験要項」をご覧ください。

昭和58年度東京歯科大学入学試験案内

1. 修業年限 6年
2. 募集人員 160名
3. 受験手続

1) 提出書類

(1) 入学願書

入学試験要項に綴込みのもの。

(2) 受験票

入学試験要項に綴込みのもの。

(3) 写真

脱帽3分身、6カ月以内に撮影したもの3枚(縦5cm×横4cm)。そのうち2枚は願書および受験票にのりづけし、残りの1枚は裏面に氏名を記入し、提出すること。

(4) 出身学校長の調査書

本調査書は入学願書・受験票・受験料・写真と共に提出することが望ましいが、別に提出してもよい。

なお、本調査書には、健康の欄の記入が必要なので、あらかじめ出身校に問合せ確認のこと。もし、記入してない場合には、綴込みの健康診断書を提出のこと。

調査書提出の困難な廃校・罹災校の出身者は、それに代る証明書ならびに健康診断書を提出のこと。

(5) 受験票送付用封筒

受験票の郵送を希望する者は、添付の受験票送付用封筒に宛名を記入し、切手(書留速達料共510円)貼付の上、他の書類と共に提出すること。

(6) 健康診断書

入学試験要項に綴込みのものを用い、昭和56年3月以前の高等学校卒業者のみ提出のこと。

(7) 受験許可書

就職中の者は就職先の受験許可書を、他の学校に在学中の者は学校長の受験許可書を添付すること。

2) 受験料 30,000円

3) 提出期間 昭和57年12月13日(月)から昭和58年1月20日(木)まで(日曜・祝日を除く)。

4) 提出場所 東京歯科大学(千葉校舎) 千260 千葉県千葉市真砂1-2-2 東京歯科大学 教務部

5) 提出方法

(1) 来学して手続きする場合

昭和57年12月27日(月)から昭和58年1月5日(水)までを除き、提出書類および受験料をそえて教務部に提出すること。受付は午前9時から午後3時まで(土曜日は午前11時まで)。

(2) 郵送により手続きする場合

添付封筒に提出書類と受験料(普通為替・無記名)を同封のうえ、書留郵便で提出期間内(昭和57年12月13日から昭和58年1月20日)に必着するよう送ること。

4. 入学試験

1) 試験内容

(1) 学科試験

英語 英語B

数学 数学(IおよびII B)

理科 物理(IおよびII)、化学(IおよびII)、生物(IおよびII)の3科目のうち2科目を試験場で選択

(2) 適性試験

(3) 小論文試験

(4) 面接試験

(5) 健康診断

2) 試験日時

(1) 学科試験・適性試験・小論文試験

期 日 1月29日(土)・30日(日)
 集合時間 午前9時
 時 間 割 1月29日(土)
 英 語 9:30~10:50
 数 学 11:10~12:30
 理 科 13:10~15:10
 適性試験 15:30~16:50
 1月30日(日)
 小 論 文 9:30~10:30

(2) 面接試験・健康診断

期日と集合時間

1月30日(日)・31日(月)

上記の日程で、大学の指定するいずれかの午前または午後で、願書受付時に受験票の裏面に記載した時刻。

- 3) 試験場 東京歯科大学(千葉校舎)
 4) 携 帯 品 試験場への携帯品は、受験票・鉛筆・消しゴム・ボールペン(黒)とする。
 5) 昼 食 なるべく各自で用意すること。なお、大学食堂も利用することができる。

5. 合格発表

- 1) 日 時 2月5日(土) 午後4時
 2) 掲示場所 東京歯科大学 千葉校舎
 3) 発表方法 合格者は受験番号を以て掲示発表し、同時に合格通知を発送する。補欠者は合格発表の際に順位と受験番号を以て掲示発表する。補欠者には合格者に入学辞退が生じた場合、文書を以て通知し、入学手続きに必要な書類を送付する。
 なお、合格者および補欠者の発表に関する電話、その他による問合せには一切応じない。

6. 合格者注意事項

合格者は学費として入学金その他、および父兄会・学生会の委託により徴収する費用を期限内に納めること。

1) 学 費

入学時にのみ納入するもの

入 学 金	500,000円
歯学教育充実費	6,500,000円
毎年度納入するもの	
授 業 料	2,000,000円
施 設 維 持 費	1,500,000円
合 計	10,500,000円

2) 父兄会・学生会関係費
父兄会関係

入 会 金	10,000円
会 費	14,000円
貸与共済基金負担金	10,000円
傷害共済基金負担金	6,000円

学生会関係

入 会 金	7,000円
会 費	5,000円

合 計 52,000円

3) 納入期間

入 学 金 2月7日(月)から
2月19日(土)正午まで

歯学教育充実費 } 2月7日(月)から
授 業 料 } 2月26日(土)正午
施 設 維 持 費 } まで
父兄会・学生会関係費 }

- 4) 寄付金 施設の整備充実等にあてるため任意の寄付金を募集する。詳細は入学手続き終了後に配布する寄付金募集要項を参照されたい。

5) 優遇制度

本学貸与奨学金制度、本学父兄会貸与共済制度、本学父兄会傷害共済制度、日本育英会奨学制度およびその他の制度がある。

7. 宿舎の紹介

受験のため宿泊あっせんを希望する者は、入学試験要項綴込みの宿泊申込書に必要な事項を記入のうえ、返信用切手60円を同封し、1月20日(木)までに下記の申込先に郵送すること。

申込先 〒280 千葉県千葉市富士見2-2-1
日本交通公社千葉支店
東京歯科大学受験宿泊あっせん係

母校だより

○学位記授与

第279回(56.9.14)合格	第280回(56.10.12)授与
関谷 実(保存Ⅱ)	第658号甲311号)
笠井 俊一(保存Ⅱ)	第659号甲312号)
松原 秀憲(補綴Ⅱ)	第660号甲313号)
畑中 政利(補綴Ⅱ)	第661号甲314号)
湯本 衛(歯麻)	第662号甲315号)
東田 久子(病理Ⅰ)	第663号乙348号)
石 光範(保存Ⅰ)	第664号乙349号)
第280回(56.10.12)合格	第281回(56.11.16)授与
小窪 公和(小児歯)	第665号甲316号)
長内 幸一(口外Ⅰ)	第666号甲317号)
古沢 節夫(解剖Ⅰ)	第667号乙350号)
高橋 哲夫(病理Ⅰ)	第668号乙351号)
山本 哲(生理)	第669号乙352号)
第281回(56.11.16)合格	第282回(56.12.7)授与
広瀬 守(補綴Ⅱ)	第670号甲318号)
大野 博重(生理)	第671号乙353号)
荒川 幸雄(矯正)	第672号乙354号)

○専門課程第3学年登院式

本年度第3学年(88期生)166名の登院式は、10月5日(月)、午前9時45分から第2教室において挙行された。学長挨拶、病院長訓辞につづいて羽賀通夫臨床教育委員長より臨席者の紹介が行われた。なお登院式終了後、臨床実習に関するオリエンテーションがあり、千葉病院各科、水道橋病院、市川病院などの実習実施についての説明が行われた。

○Dr. トーマス・T・ノグチ特別講義

昭和56年10月16日、新装なった東京歯科大学千葉校舎第1大教室において、米ロサンゼルス地区検視局長トーマス・T・ノグチ博士(法歯学教室非常勤講師)の「米国における犯罪」についての特別講義が行われた。この講義には、本学の松宮学長、金竹学監はじめ教職員、学生はもとより、千葉地方検察庁、千葉県警本部、千葉県医師会警察医部会などからも多数の聴講者が出席して、極めて好評であった。

○松宮誠一学長叙勲

松宮誠一東京歯科大学々長は、長年に亘る歯科医学の教育・研究の発展向上に尽力した功績により、去る11月3日(火)に、勲二等瑞宝章を授与された。なお、伝達式は11月9日(月)皇居新御殿正殿において華やかなうちにもおごそかにとり行われ、ひきつづき豊明殿において天皇陛下より御言葉の賜わった。本学にとってもこの上ない榮譽であり、慶賀にたえない。

○鈴木弘造教授最終講義

昭和56年11月25日をもって定年退職された市川病院内科学講座主任鈴木弘造教授の最終講義が、去る11月12日(木)2時30分より4時まで、千葉校舎の第1教室において見明清教務部長司会のもと多数の聴講者を集めて行われた。

講義は「内科学序説」と題するもので、本学に赴任された昭和24年以来、約33年間の内科学の臨床・教育・研究を通して得られた貴重な学識の一部を話された。

内容の骨子は、医学の概念、医学における内科学の地位、内科的疾患の原因、老年病学の必要性、医原性疾患に関連して、医師の倫理、歯科教育における内科学教授要綱についてといった幅広いものであった。

講義終了後、松宮学長の挨拶があり、聴講者代表の本学女子学生からは花束が贈呈された。

鈴木教授の御見識や御活動は略歴にも示されているとおり極めて広範にわたっておられ、御退職後本学名誉教授としての今後の御活躍を期待し、御健康と御多幸をお祈りするものである。

○補導関係者・父兄懇談会開催

昭和56年度補導関係者・父兄懇談会は去る11月28日(土)午前10時30分から千葉校舎において開催された。

当日は午前10時30分から11時まで講堂において学長、学監の挨拶のあと、教務部、学生部両部長より本懇談会の趣旨ならびに9月1日に開校した千葉校舎における教育および学生生活についての

説明が行われた。

次いで11時から12時までの1時間で出席父兄の学内見学が4班に分れて実施された。見学は学生教育および課外活動施設を中心として行われ、水道橋校舎あるいは市川校舎に比べ快適な学生生活を送れるよう格段に配慮された立派な施設を前にして見学の父兄からはおどろきと羨望の声が聞かれた。

昼食をはさみ午後からは各学年(専門課程)、各クラス(進学課程)に分れ、それぞれの学年主任・副主任あるいはクラス主任による個別面談が行われ、終了予定時刻3時30分を大幅に超過した午後6時過ぎ、多大の成果を挙げ無事終了した。ちなみに出席父兄は進学課程127名(学生数194名)、専門課程178名(学生数637名)の総数383名で、出席率は38%であった。

なお午後5時過ぎからは父兄会の主催によって補導関係者と父兄会役員との懇談会が千葉京成ホテルにおいて持たれた。

○解剖諸霊位供養要

昭和56年度解剖慰霊祭は11月19日(木)午後2時30分から文京区小石川の真珠院本堂で執り行われた。

その尊いご遺体を教育・研究のため献体された諸霊位に対し感謝の念を捧げ、ご冥福を祈念し、学長をはじめ職員・学生の代表者が列席し、ご遺族も多数参席され本堂をうずめつくした。

石井導師の調誦のあと松宮学長から祭文が奉ぜられ、ひきつづき列席者全員の焼香が行われ、導師の送仏偈で法要の幕が閉じられた。

この後ご遺族・大学関係者の墓参が行われ、午後4時20分、大学で用意したバスでご遺族を国鉄水道橋駅までお送りし解散した。

○実験動物供養祭

移転後初の動物供養祭が、昭和56年12月14日、千葉校舎基礎棟1階の第2ラウンジで行われた。読経は検見川の広徳院住職、勝又俊澄導師にお願いし、ラウンジの通路側に飾られた祭壇の前で、教職員・学生が一人ずつ焼香をして実験に供された動物の貴重な霊を懇ろに弔った。

○海外往来

○高添 一郎教授

高添教授(微生物学)は、姉妹校カロリンスカ大学歯学部(スウェーデン)からの要請で、Visiting Scientistとして2カ月間、教育・研究に従事するため昭和56年9月21日に出発、10月31日に帰国した。

A. 教育職員関係

定年退職	教 授	鈴木 弘造(市病内科)	56.11.25
辞 職	助 授	川村 颯()	〃 10.31
	講 師	原岡 研二(歯 麻)	〃 〃 〃
		〃 山田 茂子(保 Ⅱ)	〃 12.31
	助 手	佐々木登志子(微 生)	〃 10.31
		〃 市野立太郎(補 Ⅱ)	〃 11.30
		〃 松本 昇(市病整形外科)	〃 〃 〃
		〃 堀 正樹(保 Ⅲ)	〃 12.31
		〃 中村 光夫(補 Ⅲ)	〃 〃 〃
		〃 太田 淑子(歯 放)	〃 〃 〃
		〃 篠田 伸正(市病耳鼻科)	〃 〃 〃
昇 任	講師より 助教へ	柳沢 孝彰(病理Ⅰ)	〃 12.16
採 用	教 授	水野 嘉夫(市病内科)	〃 11. 1
	講 師	松原 秀憲(補 Ⅱ)	〃 10. 1
	助 手	湯本 衛(歯 麻)	〃 〃 〃
		〃 長内 幸一(口外Ⅰ)	〃 10.16
		〃 松原 文子(小 歯)	〃 〃 〃
		〃 根本 孝一(市病整形外科)	〃 12. 1
	講 師	広瀬 守(補 Ⅱ)	〃 12.16
	助 手	米津 卓郎(小 歯)	〃 〃 〃
休職延長	助 手	小川 克昌(歯 麻)	56.10. 1~ 56.12.31

東歯大千葉病院医局長交代 56.12.1付

新 任 伊東 哲(講 師)

旧 任 原岡 研二()

非常勤講師(新任と継続)

畑中 政利(補 Ⅱ)

菊地 香()

立川 哲彦(病理Ⅱ)

木津 武久(口 衛)

小窪 公和(小 歯)

広瀬 守(補 Ⅱ)

56.12. 1
~12.15

(大学広報80号より)

先輩訪問



有床義歯六十年

溝上喜久男先生（大正7年卒）を訪ねて

今回の先輩訪問は、母校で永く教育にあたられていた名誉教授の溝上喜久男先生です。先生は会員衆知の通り母校補綴部長、病院長、理事、学長代理、副学長の要職を経て現在名誉教授でいらっしゃいます。御専門は有床義歯でその道六十年、そして戦前戦後の母校の運営に大変活躍された先生としても有名であります。

昭和38年から第一線を退かれた後も囑託として母校で臨床を続けられ後輩の指導にあたられていたように、患者を愛し補綴を愛された先生です。現在は、満88才の米寿を迎えられ、下目黒の閑静な御邸宅に御令息の母校補綴学教授の隆男先生御一家と悠々自適の毎日を送られ、早寝早起、何んでも食べて昼間は庭の植木のお手入れに余念のない好好爺であります。

梅雨も明けようという日曜の午後御約束をとりお邪魔したところ、ネクタイ背広姿で鼻の下と顎の両方にヒゲをたくわえにこやかに迎えられ、終始笑顔で20年前と変わらずお耳もお言葉も実にはっきりとされ、カクジャクターものでありました。

長崎から歯科医師目指して

誰でも自分の進む道を自分だけで決められる人は少ない。まして大正の初め歯科の分野の夜明けとも言える時代では歯科医師を自ら目指す青年は少なかったろう。先生も医者を開業していた長兄の奨めで、お前は手先が器用だし、これからは歯科は良くなるぞ、儲かるぞと言われて当時専門学校になって間もない東京歯科医学専門学校に入学されたそうだが、一番儲からぬ役廻りだったと冗談を言つて笑っておられた。我国では大正4年当時には日本歯科と二校のみと言う状態で当然東京でなくては勉強が出来なかったわけである。卒業後直ちに補綴と口腔外科の研究科にすすまれたが、その年延期願をしていた徴兵検査を受けざるを得なかった。これが見事甲種合格で兵役に付かなければならなくなってしまった。当時歯科軍医制度などがなかったので、一年志願兵として、大村歩兵第46連隊に入営された。中学出の一兵卒からはじめられ3年後に陸軍歩兵少尉に昇進高等官

になられたが、除隊後母校に戻られ、大正13年に助教教授になられている。

堀江・矢崎先生の理論を継承

補綴と口腔外科の研究科を修了されたが、歯科診療の終結は補綴だと考え、またその面白さに取り付かれて補綴に残られた。そして自然の成り行きのように堀江先生の後を継いで有床義歯の専門家になられた。しかし何と言っても矢崎先生の影響を強く受けられ、米国帰りのドクトルは几帳面でその理論は当代随一であり、理論と実際が合致した納得のいく学問を作りあげていかれた。こうして講義と実習、そして病院の臨床指導にも溝上先生は常に自ら患者を診、全部自分でチェックしながら教育をされ、我国屈指の歯科診療室として母校に有名人の列を作らせ、患者層の質と量を誇るに至った。

昭和16年に矢崎先生の後任の補綴部長になられ、名実共に東歯補綴を担われた。しかし現在の社会保険体制の中の不採算部門の欠損補綴を想像

出来ないのびのびとした学問と臨床を結び付ける補綴であり、当時から病院では健康保健は取扱っていたが、採算不採算を考える必要のない位に良い一般患者が多かったようである。

また先生は、研究面でも特筆出来ることは、花沢先生の歯科材料や特に金属材料の臨床応用を担当され、コバルトクロムやニッケルクロム合金の試験片作りとその臨床結果について種々協力され、昭和15年には旧満州国民政府の招聘で各地へ「パラジウム合金の使用法」についての講演とデモの巡廻をされている。

花沢病院長の後任、奥村学長の代理

溝上先生の東歯45年間の歩みを拝見すると何か共通したと言うか、宿命的な御経歴が感じられる。それは初代と言うのは何事によらず大変な苦労はあるがその功績は光かがやくものであり、それを引継いだ二代目は初代の業績を更に充実させる責任だけを担わされて功少ないものであるが、実はこの二代目がしっかりやったかどうかによって初代の功績の軽重も問われ、勿論次代からの隆盛につながるものである。

先生はこの難しい二代目の役割を見事にやり果



昭和17年：講義中の先生



昭和38年：補綴科で指導中の先生

たされたと言える。先ず堀江有床義歯科長の後を継ぎ、矢崎補綴部長の二代目、昭和25年には彼の偉大な花沢院長の後任として病院長に就任された。そして昭和30年には高齢の奥村学長の命で学長代理として大学運営をされた。

〔病院沿革略史〕

- 1906 (明治39年 4月) 東京歯科医学院の校舎内に治療室を設置
- 1907 (" 40年 9月) 専門学校設置により東京歯科医学専門学校附属医院となる。
- 1920 (大正 9年 月) 花沢鼎教授医院長に就任
- 1922 (" 11年 4月) 増築工事により鉄筋3階建となる
- 1923 (" 12年 9月) 三部制実施 (保存部・口腔外科部・補綴部)
- 1934 (昭和 9年 4月) 矯正部が補綴部から独立、4部制となる
- 1949 (" 24年 6月) 東京歯科大学病院として開設許可を受く
- 1950 (" 25年 1月) 溝上喜久男教授病院長に就任
- 1956 (" 31年 1月) 内科新設、診療科は5科となる
- 1958 (" 33年 3月) 新館を増築、本館を改修
- 1959 (" 34年 3月) 歯科放射線科が口腔外科

	から独立，診療科は6科となる
1961（昭和36年4月）	大井 清教授病院長に就任
1966（" 41年4月）	小児歯科が保存科から独立，診療科は7科となる
1967（昭和42年4月）	関根永滋教授病院長に就任
1968（" 43年4月）	歯科麻酔科新設
1970（" 45年4月）	長尾喜景教授病院長に就任
1971（" 46年11月）	山本義茂教授病院長に就任
1973（" 48年4月）	歯科麻酔科が口腔外科から独立，診療科は8科となる
1977（" 52年11月）	高橋庄二郎教授病院長に就任

別掲の病院沿革にもある通り，大正年代は西村保存部・遠藤口腔外科部・矢崎補綴部の三部からなり，昭和9年にはそれまで補綴の中に入っていた矯正が独立して齊藤矯正部が出来，四部制になった。花沢院長の終りに新制の東京歯科大学病院としての許可を受け溝上病院長が誕生し，特診患者に著名人が押し寄せ大変だったとのこと，例えば鳩山一郎総理はじめ，石橋堯山，松村謙三，浅沼稻次郎，安保海軍大将，米内海軍大将等々，先生は常に臨床から離れることなく，且つ戦後の東歯再建の先頭に立たれ，大学院設置の布石ともなる新館増築，本館改修を病院長兼学長代理として指揮され内科，歯科放射線科を独立させ診療6科とした。そして昭和36年副学長を期に大井教授に引継ぐ11年数ヶ月の間病院長として在任された。

溝上先生にも「いの一歩」と言うのがあった。それは戦後の日本の歯科医療は，戦争のために欧米から10年，いやそれ以上の遅れを取ってしまった。学問の先端を歩まねばならぬ大学として，早く欧米の歯科教育事情をキャッチしなければならない。その第1号として溝上学長代理が任を果た

され，欧米11ヶ国の歯科教育事情視察をされ，以後早く若手の助教教授達に勉強の機会を与える必要性を痛感され，毎年複数の視察が実行された。そして今日若い先生方が半年，1年と留学出来るようになった。

勳三等の好々爺

先生は持前の御立派な容姿と温和さ，そして巧みな話術と日本の歯学教育をリードする東京歯科の代表として多数，対外的に例えば文部省，厚生省の関係役職に就かれた。国試関係，大学や大学院設置関係は言うに及ばず，その他学会関係も数多く関与された。

昭和36年には67歳で藍綬褒章受賞，そして昭和42年には歯科界では稀な勳三等瑞宝章の叙勲の榮に浴されている。ところが，今回の訪問でも叙勲の話を出しても当の先生は余り関心がないが如く，勲章を付けた写真も撮られなかったそうで，本当に飄飄としておられたので，こちらがその勲章の偉大さと価値に改めて敬意を表する次第であった。

先生は今退職されてから本格的に始められたと言う南画の趣味に打込まれ，あの水墨や淡彩で描く山水の柔らかな感じは，まさに先生の今日のお人柄そのものであり，腕も日本南画院の評議員としてプロ級でいらっしゃる。その他剣道は本来得意で五段教士の腕前，母校でも戦前剣道部長をされており，75歳まで竹刀を持たれたそうである。

現在の日課は，植木のお手入れと伺がった。昔から小鳥や盆栽がお好きだったそうで，今はお庭に出られて植木のお手入れが健康保持のお仕事とお見受けした。終りに大学や歯科医療のことに付いての御意見を伺ったところ，みんな良くやっているの，私が何も言う事はない，と仙人のようなお言葉が返って来た。

永生きの秘訣は，早寝早起，好き嫌いなく何でも中等度に食べることだそうで御家族にも何も心配をかけない御健康ぶりに，教え子の一人として大変嬉しく思い，当方の健康管理の御注意をいただき，玄関までの御見送りに恐縮の態で御邸宅を辞した。（桜井 記）

昭和57年度母校父兄会新役員決まる

昭和57年度東京歯科大学父兄会総会は、去る5月29日(土)午後2時から千葉校舎講堂において開催された。その席上、新会長には矢島忠夫氏、新理事に野村有市、亀井利男、中尾俊郎、大橋康男の各氏、監事に大川豊太郎、小野田 実の両氏が選出された。また、任期満了により、一戸俊治、小山 実、飯田外茂男、西山 巖の各氏が退任された。

大川豊太郎監事急逝さる

父兄会前会長・現監事大川豊太郎氏には、7月23日夜突然ご自宅で脳出血のため倒れられ直ちに都立広尾病院に入院加療中のところ同月29日午前10時2分永眠された。今後も各界でのご活躍が期待されていた時だけにまことに惜しい人材を失った。今はただただ心からご冥福をお祈りし、ご遺族のご安泰を願うのみである。なお、ご葬儀告別式は7月31日(土)に東京墨田区の自宅で、また8月22日(日)には出身地の茨城県潮来町の実家でしめやかに執り行われた。

会長就任のご挨拶

矢 島 忠 夫

この度5月29日の父兄会総会において、会員の皆様のご推薦により伝統ある母校父兄会の会長の大任を仰せつかり、その責任の重大さを痛感致しております。

前年は丁度大学新校舎の竣工、移転、祝典、また大学創立90周年と多忙な年に当り、大川豊太郎前会長には大変なご努力を重ねられ職責を全うされました。

私にとりましては過分の役柄ではありますが、幸いに優秀な本会役員の方々をはじめ父兄会員、さらに同窓会会員各位からのご支援をえまして、恙

なく任期を務めさせていただくよう最大限の努力を傾ける所存でございます。

新しいキャンパスに移って早1年近く、学生はすっかりあの緑の中に溶け込んでいる様子、今後ますますより良き学生生活を送ることが出来ますようにご父兄の皆様のご協力はもとより、大学、同窓会との緊密な連携の下、父兄会事業計画の遂行に万全を期したいと思います。

最後になりましたが、同窓会のますますのご発展と8千有余の全国同窓各位のご健勝をお祈り申し上げてご挨拶と致します。

会長退任のご挨拶——遺稿——

大 川 豊 太 郎

去る5月29日の父兄会総会をもちまして任期を全うし、次期矢島新会長にバトンタッチいたしました。矢島会長はかつて永年母校に俸職しておられ、大学充実のこの期に活躍していただけるものと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

1カ年を振り返り父兄会関係資料綴の重ねを見る時、この重大な変革期に大過なく任務が遂行できましたことは、偏えに大学の諸先生方並びに父兄会役員各位の誠意ある協力と配慮に支えられてこそありますが、さらには同窓会、父兄会の皆様方のご支援の賜物と併せて深く感謝いたします。有難うございました。

改めて考えますと、稲毛における東京歯科大学の出帆に際し、私は持前の体格と大声に添えて手

の痛くなるような多大の拍手を贈ったに過ぎないかも知れません。文字通り微力でしたが、父兄会としての昨年度の予定事業を滞りなく終了しえたことを過日の総会で報告させていただいた次第です。

近年、歯科医師及び歯科学生に対する世評も厳しくなりつつあります。大学教育と共に父兄の役割も父兄会の重要性も再認識されることと思えます。新しい名門としての東京歯科大学から心身共に期待される優秀な歯科医師の育つことを希望してやみません。

ここに重ねて同窓諸賢から寄せられました温いご支援に対し心からの感謝を申し上げ、一言退任の挨拶といたします。

トピックス

齋藤静三先生名誉町民に



齋藤静三先生は、同窓各位も良く御承知のように、本会顧問、関口、浅井、井上三後援会会長であり、歯科界の重鎮であります。

去る、3月19日(金)、東京の下町、

駒形橋際の料亭、「むぎとろ」で、先生が昨年出版した歌集「果無草」(はかなぐさ)の出版記念祝賀会が開催されました。

その席に、突然、郷里、群馬県大泉町より、電話があり、たった今、町議会において、齋藤静三先生が大泉町名誉町民に万場一致で推挙されたとの吉報でした。

本席には発起人代表の鹿島理事長、井上同窓会名誉会長の他、四選して間もない日歯会長山崎数男先生も同席しておられました。この予期せぬ慶

報に全員拍手で敬意を表し、本会のボルテージがいやがうえにも上ったことは、言うまでもありません。

さて、先生は昭和4年本校卒業後、郷里で開業、県歯会長、日歯副会長の要職に就任され、現在も日歯政連理事会議長としてご活躍中であられる傍ら、早くより郷里において、保健衛生の充実、スポーツの振興、文化の向上発展等に貢献されておられました。その功績と、先生の人間性を全町民が称え、推挙したものと思います。

且って、昭和32年文化の日に、大先輩、故小椋善男先生(元日歯会長)が、長野県下伊那郡生田村名誉町民に推薦されていますが、今回の齋藤先生の栄誉は、25年ぶりの慶事ということになります。それにつけても、血脇先生の「歯科医である前に人間であれ」というお言葉が今更のように思い出されます。今後共、充分健康に留意され、同窓会、歯科界は勿論のこと、郷土の発展にも寄与されるよう祈願し、謹しんでお祝い申し上げます。(熱田俊之助記)

(学歴)

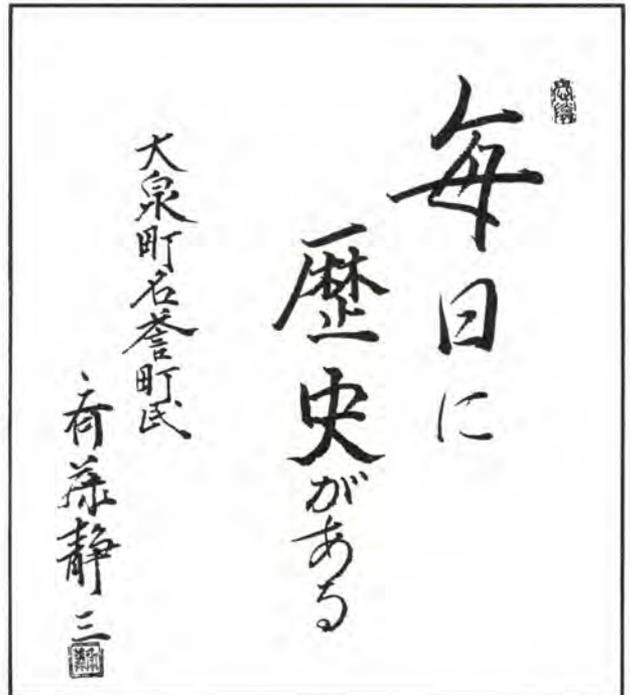
昭和4年3月25日 東京歯科医学専門学校卒業

(略歴)

- (1)昭和12年4月 群馬県立大泉農業学校校医
- (2)昭和17年4月 大泉町議会議員
- (3)昭和22年4月 大泉町消防団長
- (4)昭和22年4月 大泉町立中学校校医
- (5)昭和24年4月 大泉町公安委員会委員
- (6)昭和27年4月 司法保護司
- (7)昭和30年4月 大泉町社会教育委員会委員長
- (8)昭和37年4月 群馬県歯科医師会会長
- (9)昭和37年4月 群馬県学校保健会副会長
- (10)昭和38年4月 大泉町スポーツ振興審議会委員長
- (11)昭和47年4月 日本歯科医師会副会長

(賞)

- (1)昭和42年11月 群馬県功労者
- (2)昭和42年11月 大泉町自治功労者
- (3)昭和43年10月 厚生大臣表彰
- (4)昭和44年11月 文部大臣表彰
- (5)昭和45年9月 藍綬褒章
- (6)昭和51年11月 厚生大臣表彰
- (7)昭和53年5月 勲四等旭日小綬章



日本女性初めてのヘリコプターパイロット

—— 昭和54年卒の岳 ユミ子君 ——

新聞をにぎわしている記事といえ、歯科医としても関心をもたざるをえない。それだけ最近、世間の御機嫌にもひどく気を使わねばならなくなった。なかでも歯科医の話といえ、このところ一般に食傷気味なものが多いことは残念なことである。しかし、これは明るい話題なので特に御紹介する。

すなわち、朝日新聞(青鉛筆、人)、読売新聞、TBSテレビ、NTVテレビ、などで全国的にとり上げられた話題の人は、本学同窓の岳ユミ子さん。昭和54年3月に本学を卒業後、『歯科医業に就いて生涯それに拘束されることが定めならば、親の元を一度ははなれて外国で好きなことをやってみよう』の一念で渡米。早速マイアミの **Burnside Otto Aviation** のトレーニングセンターに入所した。その準備は 歯科医師国家試験と重複し、大へん苦しんだというが、ここが肝心要目であったようだ。最近の国試問題を見聞して嘆かれた同窓も多かったことだろうが、このように大部分の学生はこれを超えた時限にあったことを知って安心させられる。

幼少のころからの夢にとびついたきっかけも女性らしいが、家庭の経済力、語学の習熟力、学生時代数々のエピソードに富む破格な能力。それに何よりも素晴らしい覇気という諸条件がそなわっていた上に、本人は意識していないがひたむきな努力の積重ねがあったからこそ、この絶好のチャンスをもものにできたのではあるまいか。マイアミでは陸上単発、陸上多発、水上単発の3等級について約10ヶ月間訓練し、事業用ライセンスと計器飛行証明の2つを獲得した。帰国直後は大学の斡旋で空港の歯科医院に就職したが、1年4ヶ月の勤務のあと、現在の朝日ヘリコプターに転職。ここからがヘリの出発点となった。嘱託待遇であったため、週2回の歯科医院のアルバイトが生活の支えになって会社での研修も順調にすすみ、去る11月の学科試験を手始めに、この5月には実地試験合



格。7月13日に免許証(正しくは事業用回転翼操縦士技能証明)を交付され、日本で初めての女性ヘリコプターパイロットになった。

ヘリコプターは、揚力を生ずる回転翼のエンジンに機体が吊下げられているためローリングを来たして安定性が甚だ悪く、両手両脚の操作でテールローターの反回転を使ってコントロールするなど、玉乗りの曲芸のような微妙で高度な技能を要求するといわれている。

現在では、会社が重用するため歯科のバイトもままならないとのこと。両業務を立派に成しとげ、社会から期待と重い負担をかけられても、若さが全てを解決しているうらやましい現状と察した。所詮は歯科医の副業と軽んずる向きもあるが、これからは歯科医の増加による受難の時代を迎えようとしているとき、従来のワクを破って稀な可能性を追求し、これを成しとげた女性として、本学同窓が期待を寄せる特異な存在ではある。これからも屈折することなく、今後の活躍と発展を望みたいものである。ちなみに、ヘリコプターを1時間チャーターすると最低27万円程かかるそうだが、このスーパーレディーと空のランデブーをチャレ込む同窓は有り哉?『悲しかったこと苦しかったことはすぐ忘れることにしている、現在を大切に生きていきたい』ナウイ同窓女性の話題でした。

支部のうごき

秋 田 県 支 部

去る6月12日、午後2時より秋田市ニューグランドホテルにて定時総会並びに学会を開催しました。本部より同総会副会長安嶋宣忠先生、大学より学長代理兼学会講師として重松知寛教授が御来秋下さいました。重松先生は「小手術を中心にした診療過誤について」と言う演題で多数のスライドを使い丁寧にご説明下さいました。

議事に入り56年度決算は原案通り可決、決定。57年度予算は一部改正し可決、決定。

役員改選がありました。支部長は満場一致で留任と決定、中村実支部長が再選されました。監事は佐藤俊男先生、山内静先生が推せんされ拍手で決定しました。他の役員は後日決定しております。

新入会員として嶋田均一先生（S51年卒）が紹介されました。先生は秋田市大町4丁目中村歯科医院に勤務しております。午後6時より御来賓の先生方と膝をまじえ懇親会を開催しました。翌13日快晴の椿台ゴルフクラブでコンペを行いました。総会出席者（敬称略）森山勇一郎、武田一、中村実、安嶋宣忠副会長、重松教授、田中春男、黒沢秀斎、堀部清元、神成勝夫、五味武一、山田寛、中村正、高橋一夫、秋野博尚、山本竜土、高橋昭一、中村哲久、寺岡洋一、太田晃、山内静、鈴木滋、佐藤俊男、駒橋典夫、中村嘉夫、有明一、野呂田正一、嶋田均一、駒ヶ嶺和彦、高橋是崇、以上



クラス会だより

壬 戌 会

(大正15年卒)



57年度の大会は山陰地方で2泊3日の日程で開催されました。

5月18日玉造温泉の長楽園に空路、陸路で皆様お集まりになりました。

同夜大会を開き、年度内に亡くなられた新潟県の鈴木昇君、山口県の松田俊男君(君は55年大会には出席されて居ました)の御冥福を祈りました。これで会員数は49名(外に外地2名)となってしまいました(卒業時には134名でした)。

19日は宍道湖を右に西へ一路日御崎へ径島のウミネコは丁度繁殖期で大群が群れてるのを見る事が出来ました。戻って出雲大社に詣でました。御承知の様に縁結びの神様の絵本家、今さら御礼詣りでもないのですが、中食は老舗荒木屋で本物わんこそばを風味、湖の北岸を一路東へ松江市に入るハーンの旧居、武家屋敷等観光、若い方々は松江城にも登られました。市内の案内は東の内からでしたが安来市を経て米子市へ夕方皆生温泉の皆生グランドホテルへ着きました。

20日は夜来の雨は止みましたが大山の頂は全く望めず、登るにつれて雲の中では山陰を代表する

名山も残念でした。大山神社に詣で北へ下って海岸線を一路東へ鳥取市へ向いました。途中は20世紀梨の名産地、ガイド嬢の歴史から地理と多方面からの名案内を聞きながらいつの間にか鳥取砂丘へ入って居ました。説明通り防砂林が繁りすぎて何処か砂丘なのかと戸惑いました。海岸線へ出て漸くその面影に接した様な次第でした。

鳥取駅へ陸路の方を送り空港へ向いました。不連続線通過の余波でフライトが遅れましたが皆様無事御帰宅された由何事もなく結構でした。

参加者は二人連れが梅原・井上・鈴木・今井・吉川・平山、単身は渡辺・沢井・武居・谷の16名でした。今年は御出席が例年になく少なかったのですが、会員の平均年齢80歳ともなれば止むを得ないでしょう。

お互いの体調の事も考えて相応の企画をする様に致しましょう。

細く永く切角御自愛の程を祈ります。では又来年お会い出来る様楽しみにして居ります。

(谷 記)

更 始 会

(昭和3年卒)



人生還歴、古稀、喜寿を過ぎ所謂第三の人生旅路を歩いている吾々会員の大半は、日々体力の限界を感じ誰しも一度は通らなければならない事であるがなんとなく心細く、体の種々の異常を感じつゝ毎日を過しておられると存じますが無理せず長生きしましょう。恒例の5月総会旅行は伊豆箱根方面にて2泊3日の日程にて開催いたしました。参加者21名、常時参加の干野幹事は昨年秋の一泊旅行、今回の総会旅行も体の不調にて欠席され去る6月24日検査の為横浜警友病院入院加療中です。兄の趣味絵画個展を1週間盛大に催されお互に元気を喜びあいましたが残念にたえません。1日も早く快癒を祈ります。

5月25日箱根奥湯河原山翠楼に集合一同元気の再会を喜ぶ。昭和57年度の総会を開催、昨年5月より成田、松田、稲垣3先生御逝去され物故会員70名に対し黙禱をさしげ御冥福を祈る。会務報告会計報告を御承認得て協議事項に入る。大沢君により開催す。来年5月総会旅行は卒業55周年を記念して豊橋知多半島より伊勢賢島への2泊3日と

決定、御家族共々多数御参加願います。

翌日も好天に恵まれ、久し振りに吉浜より熱河と一路美しい海岸線を天城連山伊豆七島を眺め下田了仙寺に詣で、河津湖より高熱の温泉が湯煙りをあげている峯温泉から湯ヶ野をへて、伊豆の踊り子で知られる峠七曲の天城路を過ぎ湯ヶ島へ、奇祭で有名な明徳寺にて一同身体健康祈願する。狩野川に沿って下り長岡石亭に旅装をとき昨夜と同様酒宴となる。例により田島君の奇術、曾田夫人の三味線にて大沢夫人の舞踊、浅野、田島、大沢諸兄のカラオケ等あり。友は友を求め酒は友を懐しみ楽しみの限りをつくす。翌日三津浜スカンジナビア号で昼食後、重要文化財の江川邸葦山郷土史料館葦山反射炉を見学三島駅にて再会を約し解散す。

参加者森下、山口、浅野(誠)、黒田、田嶋、大沢、三浦、曾田、西山、清水、佐世保の江崎清君が春の祝日に勲五等双光旭日章を受賞され誠にお目出度う。今後共健康に留意され社会福祉のため御奉仕の程祈ります。(清水 記)

三 辰 会

(昭和7年卒)



◇ 春の叙勲

本春の厚生省関係受賞者中、次の両氏が榮譽を受けられた。謹祝。

瑞 四 宮崎芳雄氏(青森市)

同 上 滝 義胤氏(愛知県一ノ宮市)

◇ 訃 報

鈴木三国氏(西多摩郡羽村町)は入院中のところ肺炎心不全のため、昭和57年5月15日逝去された。謹んで哀悼の意を表します。

木村幸人氏(清水市)病气療養中のところ、6月1日午後6時、遂に、残念ながら他界された。葬儀は3日に行われた。謹弔。

◇ 春の地方会

広島・山口両県に亘る3泊4日間の旅行会は、揚・徳田・歌野原の三氏により計画され、5月23日(日)午後1時、広島駅集合で開始された。集うもの44名、バス2台に分乗、広島原爆の有り様に改めて、再び戦争の悲惨さを認識し、その後は楽しい行楽に終始した。第1夜は宮島のロイヤルホテル別館の豪華な部屋に夢を結んだ。翌朝、宮島厳島神社参詣、記念撮影の後、錦帯橋へと向い、昼食後、山口市内観光後、湯田温泉に第2夜泊り、第3日は秋芳洞、萩市内観光、毛利家の東光寺、松下村塾などを経て、湯本温泉、大谷山荘に最終第3夜の宿泊をした。第4日の最終日は午前中、仙崎港に向い、穏やかな海上を、青海(おおみ)島巡りをし、見事な岩景色を満喫した。今

回は、滝・宮崎両氏の榮譽を祝すると共に、関口和夫・玉井俊治・鈴木三国三氏の御冥福を祈って開始、新鮮な海産物の珍味を満喫した。晴天に恵まれた4日間であった。出席者は次の通りであった。(敬称略、アイウエオ順)

〔同伴組〕 池田利輔・歌野原静馬・大久保一夫・大津新一・近藤 昭・小梨 昌・城谷加寿雄・田中勝雄・中野三郎・根岸昌三・野上順平・松岡重雄・水野孝四郎・宮原晋次・村居良雄・楊靖也(亮息・49卒)

〔单身組〕 石田英二・井比 孝・木本信義・佐藤 一・清水正一・関根正一・関根友次・徳田静二・堀 次郎・松井隆弘以上。

(大久保・清水記)

木村兄の御長逝を悼む



同級生の木村幸一君の御逝去を知らされ、突然の訃報に啞然としました。

告別式は6月3日、多数の親戚、名士、友人に送られてしめやかに行なわれました。

木村君は、静岡県歯科界の名門元静岡県歯科医師会、会長を長年務められた木村幸蔵氏の御曹子で、行年七十一歳、東歯昭和七年卒であります。性格は快活、英知に富み、学生時代は卓球部、卒

クラス会だより

業後は歯科医師会の野球部員として他県にまでの挑戦に参加するほどのスポーツマンでありました。

彼が病弱になったのは十年ぐらい前、痛風を嫌い、加療に専心しましたが全快に至らず、次いでパーキンソン氏病を病み、病勢が進んで一ヶ月の入院中に他界しました。

彼は五人の子福者で、長男敏幸君は、昭和40年の東歯大卒で目下後継者として名門を守り診療に従事しており、次男は東北大学歯学部を卒業し、目下同大学病院にて研究中です。其他三人の姉妹は、各々立派に家庭生活に入っております。

木村君は、学校歯科医として長年に亘り地域医

療に奉仕し其の他、清水市歯科医師会長、保険所運営委員、国保運営委員、静岡県歯科医師会代議員、同代議員会議長、日本歯科医師会代議員、静岡県歯科医師会副会長、静岡県地方医療協委員、社会保険審査委員等の職にあり、歯科界発展に貢献した事により東海地区歯科医師会連合協議会より表彰されたりしました。他面謡曲に趣味を持ち師範の免許を得て、老後はこれに楽しんで余生を送ると言っておられましたが、今や歯科界の人材を失って甚だ残念でたまりません。

どうか木村君、安らかに昇天されんことをお祈り致します。さようなら。

(大場 明徳)

四 海 会

(昭和8年卒)

50周年記念旅行

卒業50周年を記念しての旅行にと手近な処で伊豆山。湯元の旅を計画致しました。出席者男21、女10名の二泊三日の旅でした。先ず5月25日午前10時半国鉄総武線稲毛駅前に集合と決めました。全員定刻に集合。サンルートホテルの小型バスとサルーンバスでホテル・サンルートへ、午前11時25分着、松宮学長、鹿島理事長、高橋病院長、高木副学長の方々のお出迎えを得。学長先生と鹿島理事長から丁寧な御挨拶があり和気あいあい裡の中に立食パーティに移り歓談の後午後12時30分サンルート発母校へ、母校内を山本教授、高橋病院長の御案内で諸施設並に構築物を懇切丁寧に御説明を戴き、正門前にて一同記念撮影をして母校参観後午後2時バスで旅行に出発。午後3時10分隅田川を渡り東名高速港北地区のドライブインにて少憩の後小田原鈴広蒲鉾店にてトイレ休憩5時10分、途中無事午後6時“蓬来”旅館に安着入浴後午後7時宴会開始。第1日の疲労のせい酒量も進まず静かに総会を了り寝に就く。翌朝8時30朝食後午前10時“蓬来”よさようなら真鶴に向う。午前11時10分真鶴岬着、大正庵にて新鮮な魚貝類の料理に舌鼓を打ち昼食を了え午後1時10分真鶴

出発箱根に向う。午後2時20分関所跡着午後2時45分関所発大湧谷着3時45分。大湧谷発天成園へ向う午後4時30天成園着午後5時50分宴会。今夜はさよならパーティ芸妓5名一同歓を尽して飛入りの余興にやんやんやの大はしゃぎ、はめを外して大騒ぎ、酔も発して学生時代にかえり夜の更けるのも忘れて歓を尽して就寝する。

第3日目朝食午前8時30分。午前9時42分天成園のマイクロバスにて湯元駅に向う。湯元駅にてサロオンバスに乗り換えて芦の湖に向う午前9時50分。湖尻に午前10時30分到着。午前11時出航のくらかけ丸に乗船、薄日のもれる曇り日で湖水は波もなく鏡の様な水面を滑る様に船は進み、午前11時50分元箱根に到着下船。バスに乗り換えて桜茶屋に向う。正午桜茶屋に到着。天誅組事件で史跡に残る、有名な桜茶屋に昔を偲びつつ食膳に向う。

京風の絹漉し豆腐の湯豆腐の香り揚出しの天ぶら等山の幸の御馳走に満腹の身をバスの人となる、時に午後1時、小田原へ向けて山を下りる途中、神崎与五郎で有名な甘酒茶屋に立寄り昔の味をちよつと味わいバスは一路小田原へ。紙面掲載の都合上制約があり乱文乱筆で失礼ですが御勘弁

クラス会だより

下さい。当日出席者は母校のみ見学者、沖憲六、横矢重和、阿佐見工、山本義茂、中条弘の5名旅行参加者

成宮貞一郎、伊東正二、吉井三郎、柏倉武男、国沢重伸、増田悦蔵、難波徹男、北野 勇、田辺

和三郎、加藤亮之輔、岡田信男、小坂 力、野上栄次郎、金内とみ、平井 猛、小早川隆幸、橋本栄、勝海昇一、常岡進化、門馬 弘、杉本 幸、中尾文吉、若林一夫のみ伊豆山“蓬来”へ出席。
以上 (小坂 記)

仁 蜂 会

(昭和15年卒)

阿曾沼秀君の尽力で今年のクラス旅行(盛岡—陸中海岸—宮古—遠野—花巻の二泊三日)は総勢61名の参加で、みちのく岩手路の新緑あふるる初夏を心ゆくまで探訪した。阿曾沼君御夫妻本当に有難う。

開通早々の東北新幹線や花巻空港から、最初の泊りは繋温泉(盛岡近郊)で6月4日夕刻参々伍々集まった。

夫婦組26組として終始和やかで、記念品の重い南部鉄の花瓶も心なしか軽かった。

総会は例の如く、愛知君と田口君の報告で始った。来年のクラス旅行は3度目だが九州旅行(長崎—平戸—唐津—有田—佐賀—福岡案)で幹事は友岡君アシスタントに堤と一任決定した。

宿題の中国旅行については堤が計画案を発表(来年5月の連休を中心に約10日間、費用約35万

程度)したが、詳細については後日通知することとなった(14名の申込があった)。

翌5日は、特別バスのサロンカー2台に分乗して陸中海岸へ向った。最近発見された龍泉洞(鐘乳洞)を経て太平洋を眺め、遊覧船で浄土浜に向う。「海猫」が餌を求めて船側に飛来して旅情ひとしおであった。

宮古で一泊、新鮮な海魚料理に満腹した。奥さん方の歌も加わり宴会は最高潮、クラス会ならではの全く生命の洗濯であった。

あけて6日は、民話で有名な遠野を通り南部曲り家、遠野博物館を観て、最後の地花巻でワソコそばに満腹して散会した。来年まで皆達者で、また会いましょう。(堤)

“曲り家は オンシラサマならぬ 白木槿”
杜城

五 十 一 期 会

(昭和20年9月卒)

昭和57年度51期会総会開催の報告

“盃をあげて51期会は廻りもち”中京地区愛知県ブロック代表名古屋の中川君、川崎君、安倍君等の主催で去る5月21日賢島の志摩観光ホテルで総会と晩餐会の催事が夜のムードに溢れる華麗な趣向で盛大に行われた。卒業後37年ぶりに再会した学友もおり全国各地から参集なつかしい顔、顔、実に一別以来の変らぬ握手と旧交を温めた。酒井代表幹事開会挨拶後逝去された橋高君、平山(輝)君、長竹君にもくとう。新幹事紹介し昨年総会でお世話になった千保君に御礼を述べ会務会計報告

後桜井前代表幹事と並木前会計担当幹事に任期中数々の尽力された労をねぎらい記念品贈呈を行なった。御苦勞様でした。来年の総会は新潟県地区ブロック代表長岡の田村君、五十嵐(辰)君、八百枝君、関井君、長谷川君等のお世話で開催と決定し八百枝君から概略説明があり多数学友参加を要望大いに期待したい。還歴祝記念品を中島、安倍、村岡、安井、並木、石原、二日市、八百枝の諸兄に贈呈し拍手をおくる。湯の山温泉の宴会は中川君の乾杯音頭で飲めや歌への余興が学友と奥様と綺麗どころを交えて美声をマイクに中村君の

クラス会だより

ムード芸術? で最高潮に興味を盛りあげ雪之丞こと井上君のワンマンショーが披露され万来の拍手をおくる。まだまだ二次会を続ける処一応全員で校歌を合唱し来年の再会を約して無事終了。バス旅行も快晴で実に幸運でした。最後の昼食会は地元諸兄の手厚いもてなしで美味に舌鼓して高石君のテナーが披露され拍手又拍手の連続、51期会の特色はいやがうえにも格調高く盛大に進行してゆく。名古屋城も51期会に両手をあげて祝福している様によみとれた。なんと素晴らしい絶景である

う!! 色々準備万端お世話を頂いた中川君、川崎君、安倍君に心から厚く御礼を申し上げます。総員47名。

同伴：土屋、波多野、八百枝、遠藤、高石、井上、宝諸、片山、早川、酒井、増田(一)、桜井(正)、安倍。

単身：中林夫人、天野、二日市、石原、岩崎、上脇、川崎、木下、正木、溝呂木、村岡、中川、中島、中村、並木、岡(一)、桜井(真)、千保、鶴岡、田上、安井。
(鶴岡 記)

五十二期会

(昭和22年卒)

最近はいつ会報を見ても52期会の報告がないぞと、大分諸兄よりのおしかりをうけましたが、これからは東京の幹事が交替で書くようにします。約2年間、ご無沙汰してきましたが、関口恵造君の選挙の際は過分なご協力をいただいた事を幹事長山崎文男君に代ってお礼申し上げます。関口恵造君も歯科界のため参議院議員として大活躍しております。本年は卒後35周年になりますが、これを記念して本年のクラス会旅行は10月9日(土)、10日(日)、11日(月)二泊三日の京都、志摩の旅行を実施いたします。まだ定員に余りがありますので参加希望の方は、幹事の佐藤守(滋賀)長安清(大阪)に電話で連絡ください。毎年毎のクラス旅行については何時も地元の幹事の方に、お

世話をしていただき紙上をかりて厚くお礼申し上げます。クラス会の役員も毎年の旅行の総会で決定されていますが、在京及び近隣の級友全員が幹事として会の運営にあっています。本年11月の母校同窓会の際は東京で52期クラス会を開催しますので、参加をお待ちしております。

お互に子供達もすっかり大きくなり、大学卒、就職、結婚と何だか余計に多忙になってきましたが、何とか丈夫で長持ちしたいものです。諸兄の健康を祈りつつ簡単に報告まで(57. 7. 6)東京、三輪英武記、次回は交替します。尚前回の報告より今回までの間に級友、奈良の宇田君、四国の加地君が逝去されました謹んでご冥福を祈ります。

いとし会

(昭和24年卒)

毎日うっとうしい日が続いておりますが、皆様方お元気で過ごしてですか。卒業して34年になりました。体調完璧という日が少なく不調を訴える毎日ですが、いとし会の諸兄姉各地で頑張っていることと思います。

今年も例年の通り五十四期クラス会を開催すべく、幹事一同協議の結果、本年は栃木県の井上純一郎君のお骨折りで日光国立公園塩原温泉にて紅

葉を見ながらの一夜を越し、旧交を温めたいと計画を致しました。この“いとし会だより”がお手許に着くのと前後して幹事会からも通知が届くことと思います。出来るだけ沢山の先生方奥様同伴にて御参加下さいませお願い申し上げます。

尚当日塩原カントリークラブにてゴルフを行いたいと思いますので御参加下さい。

記

日時 昭和57年10月22日（金）
場所 栃木県塩原温泉四季の里

ホテル塩原ガーデン
集合 10月22日（金）午後4時（森滋 記）

久 喜 会

（昭和36年卒）



56年度久喜会総会は、卒後20周年と記念すべき意義ある総会として、56年11月28日（土）午後4時からホテルニューオオタニ紫雲の間で、開催された。総会に先だち20周年記念講演が、同期生である佐々木、黒柳両教授によって各専門分野の研究について行なわれた。

総会は岡英男代表幹事の開会挨拶につづいて、座長選出の後56年度会計現況報告（56年11月16日現在）庶務報告、福祉関係報告、広報関係報告、評議員会報告と続き協議事項として、55年度会計決算、57年度事業計画案、57年度歳入歳出予算案及び20周年事業の承認が行なわれた。役員選出も

満場一致で了承された。

引きつづいて懇親会にうつり、大学へ20周年を記念して、記念品の贈呈が行なわれた。来賓として松井名誉教授、秋山、山中教授の3名の恩師を囲んで楽しいひとときをもつことが出来、学生時代に返ったような会であった。

なお57年総会は、10月30日（土）午後5時から熱海やまき旅館で開催されます。多数の参加を幹事一同期待しています。詳細については近々発送される予定の久喜会会報でお知らせします。

（大野 記）

×

×

×

すいどうばし

中国を訪ねて

堤 敏 郎（昭和15年卒）

柳堤善治水 柳堤善く水を治め
風光和人心 風光人心を和ます
交友五十歳 友と交って五十年
今猶悦不変 今も猶変らざるを悦ぶ

文字通り机を隣りした柳歩青君（東歯同期、北京市立口腔病院長、北京大学教授）の招きをうけて、私は第1回日中歯学交流団（14名）で、45年振りに4～5月にかけて、中国（上海—杭州—蘇州—北京）を訪ねた。

出発の前日、中国大使館に宋之光大使を訪問して、横山信行君（東歯昭39年卒、慈恵医大元歯科医長）の著書150冊（BEGG 矯正理論とそのテクニック及び臨床矯正学—TWEED のエッチワイズ法）と川口健太郎君（トミー会長）からのTCO構成咬合器（堤式の改良型）30台、総計約500万円のを中華医学会に贈呈した。

上海では上海第二医学院（大阪歯科大学と姉妹



校）の藍錫純学長を表敬訪問したり、同附属下九病院口腔系を参観かつ懇談会をもった。仲々の「熱烈歓迎」振り。

昨秋来日された張群華先生（昭12卒、上海鉄路病院副院長）とホテルで約2時間じっくり懇談した。張先生は目下新しい歯科大学を来年9月をめどに創設準備中とのこと、母校の協力援助を熱望しておられた。

私と同期の劉裕璟君（常州市立人民第2病院）から矯正講演の依頼があったが、残念ながら今回は連絡が充分とれず、来年の機会を約した。

“杭州は うぐいすの呼ぶ 茶の畑” 杜城
軟座車で杭州へ。杭州は南宋の首都であって、中国随一の佳人西施を生んだ西湖がある。新緑滴たる湖畔で興亡二千年を偲び、巨刹靈隠寺、飛來峰石刻、六和塔、岳飛廟など名所古蹟を探ねて、旅心は満喫させられた。

“風鐸に 春の去りゆく 寒山寺” 杜城
蘇州は蘇州美人と名園（拙政園、西園、怡園、留園など）の有名な千五百年の古都、「月落ち鳥啼き霜天に満つ…」の詩にある寒山寺（臨濟禪）



では性空老師揮毫の為書「心光透露」を頂き感激した。蘇州随一の名亭得月楼では最高の中国料理と紹興酒にすっかり酔興して酔詞

春風薫卓上 春の風は卓上に薫り
 莫友拳酒杯 莫(逆)の友は酒杯を挙げて
 蘇姪有何処 蘇州美は何処に有りや
 望郷偲荊妻 故郷を望んで荊妻を偲ぶ

北京へは上海から空路。機上では直下に広大な黄河流域が眺められ、折からの夕陽に西は茜色、東の空には淡い月が昇り始める絶景であった。

“沈む日は 月を招いて 崑崙のはて” 杜城
 三度目の訪問の北京では柳君が終始案内してくれた。学術講演は横山君の矯正、谷弘先生(大歯

卒、日本歯科心理学会長)の歯科心身症、私の臨床矯正であったが、極めて熱心な聴講態度。ハルビン医大歯学部出身者が4名おられ高木圭二郎副学長の訪中を期待しておられた。

中華医学会本部を訪問して、山崎日歯会長と白数日歯学会長からのメッセージ及び記念品を手交贈呈し、重ねて中国のFDI正式参加と来年FDI東京大会出席を口頭で伝達してきた。

中国の歯科事情については、デンタルダイヤモンド(今年4月号)私と柳君との対談にあるよう日本との交流を中国側は切実に希望しているので、同窓の関心と今後の協力が期待される。

×

×

×

◆投稿規定

- (1) 原稿締切
原稿の締切りは奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投稿様式
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮下さい。
なお、会報専用の原稿用紙(22×10字行)がありますので、ご一報下されば送付いたします。
- (3) 投稿字数
① 随想、詩、短歌、時評などは1編1,500字以内。
② 支部のうごきは、800～1,000字。
③ クラス会便りは、700～800字。
④ よろず告知板は、200字以内。
⑤ 写真は一葉200字に換算して下さい。
⑥ 折角ご投稿いただいても、規定字数を超えた場合は、掲載いたしかねますのであらかじめご諒承下さい。
- (4) 写真等の返却
写真等は、原則として返却いたしません、特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下さればご返送いたします。

◆へんしゅうこうき

前回より始まった先輩訪問。今回は溝上喜久男名誉教授でした。御高齢な両先輩の高貴なお人柄をお伺いするにつけ、最近の世情がそれになじまないことは悲しむべきことです。偉大な先輩の回顧は叙情あふれる貴重な詩篇です。

このところ同窓諸氏の海外での活躍がトピック欄をにぎわすようになり、今回は中国のお話です。内外の人々の交流も繁くなり、私達歯科医師の虫眼鏡的な診療生活に、より大きな視界を開く刺激剤となることを望みます。

本号には、新しい同窓147名の名簿も同封され、入学試験の御案内もあり、また日本で初めての女性ヘリコプターパイロットのトピックもあります。若き同窓の活躍も華やかな存在です。先輩の築いた太いレールの上を安心してたどれる若い人達は幸せであり、先輩、後輩ここに密に交流し合い、後輩は先輩をいつくしむ。このような雰囲気の本誌に感ぜられたら、本望ではないでしょうか。

8月はまた終戦記念日。再び回想される当時の悲劇。一方、戦争を知らない世代が総人口の過半数を超えたそうです。本学同窓総数、八千有余にも戦無派の数が増え、ほぼ10年後には過半数を占めることとなります。戦争を知らない世代に戦無派と戦後派があり、それに対して戦前派と戦中派があるそうですが、両者の間には、位相のズレたテレビ画面の輪廓線のようにくっきりとした断層線があるそうです。やがてこの線は画面の下から上にズレ上っていく。従来云われてきた本学の校風や精神が、このような世代の交代のなかでも終始一貫して生き永らえることを祈ります。(古川 正)

広報担当理事：梅田昭夫、溝上隆男、松川健二、伊藤 哲、仲谷純三、平 佐武郎、馬嶋 博、野上順平
広報部会報編集委員会 委員長 櫻井善忠、副委員長 薬師寺 仁、
委員 中久喜 喬、中村泰之、山本啓介、古川 正、松井恭平、林 量一

昭和57年8月15日 印刷

編集・発行人 梅 田 昭 夫

昭和57年8月20日 発行

東京歯科大学同窓会

東京歯科大学同窓会会報 第208号

〒101 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話(03)262-3421(内線226)

(03)264-4859(直通)

印刷所 一世印刷株式会社

東京都新宿区下落合2-6-22

電話(03)952-5651(代)

高輪と品川、ふたつのプリンスホテル

両プリンスホテルは、東京歯科大学同窓会の皆さまに特別サービスをご用意して、ご利用をお待ちしています。



由緒ある日本庭園を配して緑の中に静まる高輪プリンスホテル。500の客室、10をこえる各種レストラン、バー。つねにプリンスホテルならではの、まごころをこめたおもてなしで内外のお客さまをお迎えし、真のくつろぎを提供いたしております。

都内でも有数の設備を誇るスポーツランドをはじめとして、のびのびと楽しめる新しいタイプのホテル、品川プリンスホテル。ビジネスでのご利用はもちろん、ご旅行にもご家族でのレジャーにも幅広く、気軽にご利用いただきたいホテルです。

●ご宿泊●

特別割引料金にてご利用いただけます。

ご予約は、会員専用の予約直通電話をご利用ください。

高輪プリンスホテル (03)445-1855 品川プリンスホテル (03)449-3581

★上記専用電話以外のご予約につきましては、特別料金によるご宿泊は、できませんのでご了承ください。

●ご婚礼●

同窓会の皆さまと皆さまからご紹介いただいたご婚礼に対して、各種のサービスがございます。

サービス適用ホテルは、高輪プリンスホテル・品川プリンスホテル・麻布プリンスホテル・白金プリンス迎賓館です。

★ご予約の際は必ず東京歯科大学とお申出ください。

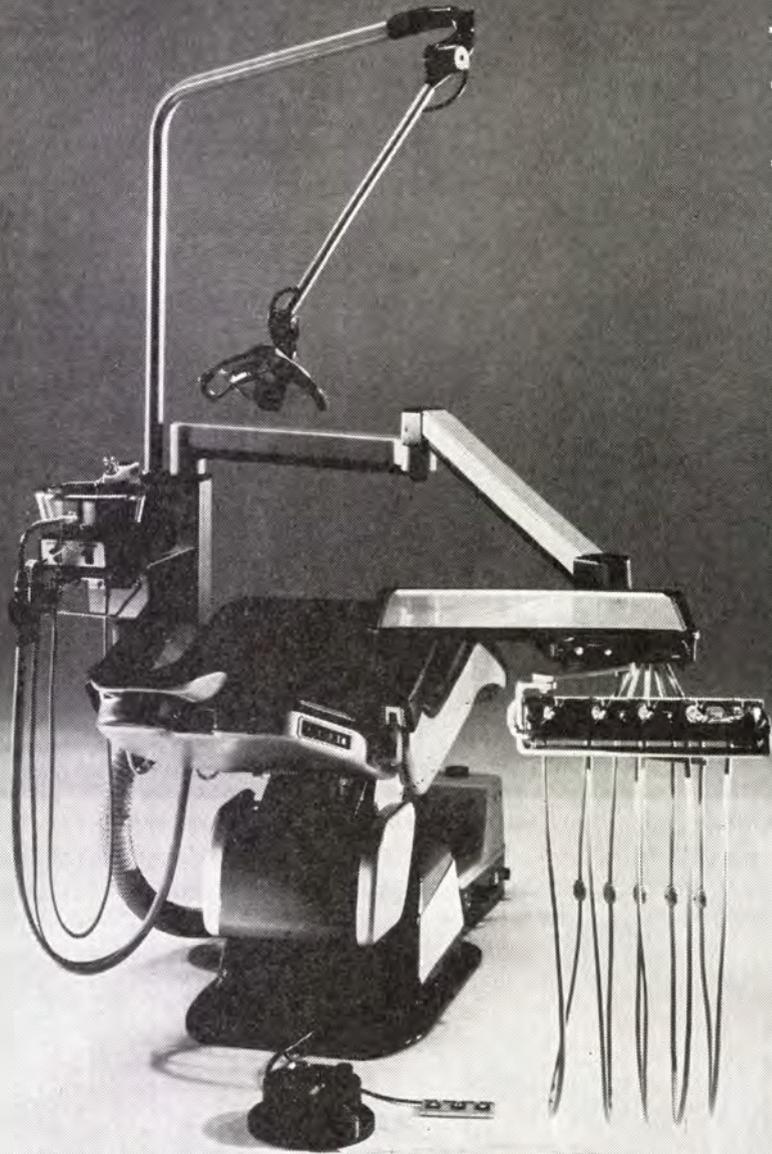
 **高輪プリンスホテル**

東京都港区高輪3-13-1 ☎108 TEL.(03)447-1111

 **品川プリンスホテル**

東京都港区高輪4-10-30 ☎108 TEL.(03)440-1111

「エレクトロニクス」技術を集結した世界唯一の
 チェアマウントシステムのデンタルユニット



スマイリー-GM8000 SERIES

スマイリー-CM8100
 ¥2,986,000

新製品

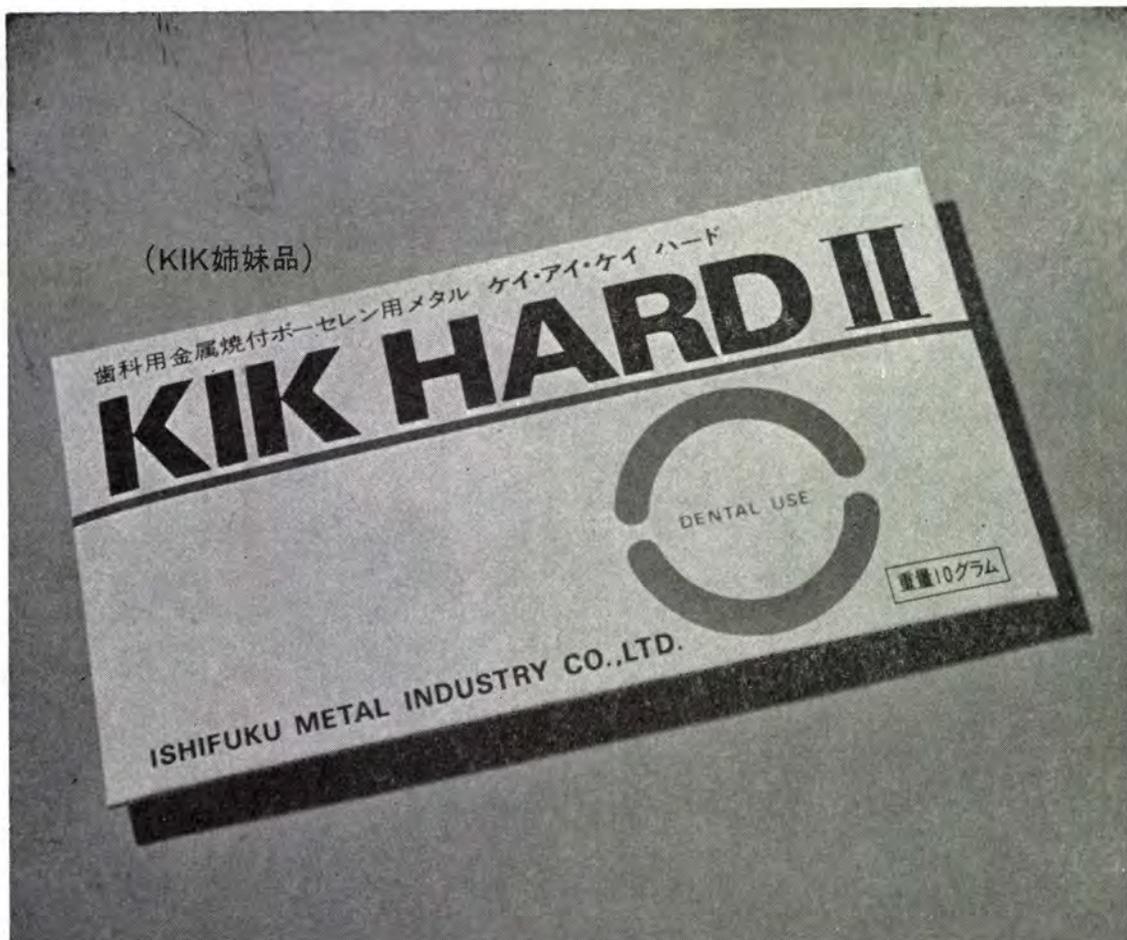
ハイテクニクを追求しつづける
 オサダが、最新のエレクトロニクス
 技術をデンタルユニットに取り入れ、
 先生の診療を快適で高能率、メンテ
 ナンスの楽な簡潔化を計ったユニッ
 トに完成させました。

IC回路の採用により、例えばワー
 クテーブルがぐつと薄くなり、先生
 方の胸上配置を可能にしました。又、
 ユニットの生命であるインスツルメ
 ントは全てオートクレーブ可能とな
 りFPシステム(先取り優先)採用に
 より、先生方がご使用中でも、他の
 パーの交換を流れに沿って助手が交
 換できるシステム等……技術に生き
 るオサダが、エレクトロニクスを診
 療機器に集結させ、先生方のご要望
 に応え、ここに登場しました。

※全国オサダショールームにてお手にと
 ってお試下さい。



長田電機工業株式会社
オサダの専任販売
 東京都品川区東五反田5-17-5 電話03-4927-6951



金属焼付ポーセレン用合金

KIK HARD II

- 硬度が210Hvと硬く、長いブリッジ・うすいクラウン等にも最適です。
- 流動性が優れており容易に鋳造できます。
- 焼成回数を重ねてもメタルの変形はほとんどありません。

主成分 金73%・銀2.8%・白金13%・パラジウム9.7%

諸性質 ● 溶融温度1240~1290℃ ● 比重17.8 ● 鋳造収縮1.34

	硬度Hv	引張強さ kg/mm	伸び%
鋳造時	180	44	5
グレース時	210	46	5
硬化時	225	48	4

KIKポーセレンの他VITA・CERAMCO等のポーセレンに使用できます。

石福金属興業株式会社

NEW!



ENDODONTIC CEMENT
デンタリス®KEZ
Root canal Sealer & Filler

本格的な根管充填用シーラー**デンタリス®KEZ**が誕生しました!

新製品デンタリス®KEZは、根管充填専用として開発された遅硬化性のセメントで、根管壁及びポイントに対するヌレが優れ、練和後根管内で5〜7分で硬化し、エックス線造影性を有しております。また、PHをアルカリ性に調整し、炎症巣への刺激を避けたエンドドンティックセメントです。

〔適応症〕 抜髄根管或いは感染根管治療後の根管充填材として応用します。

または根管充填用シーラーとして、ガッタパーチャポイントとの併用根管充填材として応用します。

〔特長〕 デンタリスKEZは、水酸化カルシウムを含有するエンドドンティックセメントで操作性が良好です。

- ・練和時に適当な粘りがあり、根管壁への接着性及び封鎖性がすぐれています。
- ・硬化時間に一定の余裕がありヌレと流動性がよいのでガッタパーチャポイントとの併用根管充填に特に有効です。
- ・エックス線の造影性がありますので、臨床的に根管の閉塞状況を検討するのに有効です。
- ・根端歯周組織に対して有害作用を示すことがなく、自然治癒力を妨げずに治癒にたいして好影響を及ぼします。
- ・デンタリスKEZは、ビタベックス®との積層根管充填には、親和性があります。

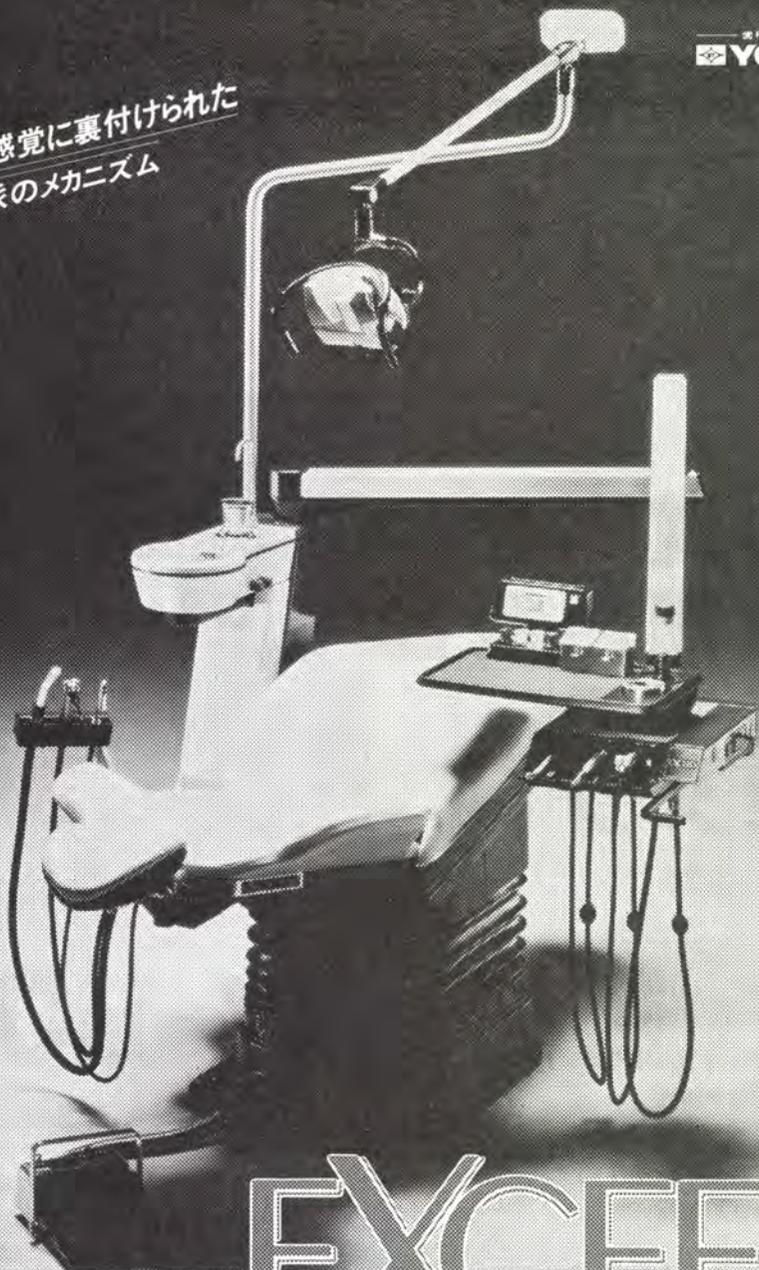


ネオ製薬工業株式会社

〒150 東京都渋谷区広尾3-1-3 Tel. (03)400-3768(代)

ユニットが変わった!!

ニート感覚に裏付けられた
未来派のメカニズム



エクシード
EXCEED

UFO SYSTEM
United Functional Operation System

ドクターの歯科診療に対する限りない情熱と研ぎすまされた医術を余すところなく、しかも機能的に発揮させてくれるユニットとは? 「感性の時代」と呼ばれる中で、見せかけを超越した機能とデザインをもった「本物のユニット」への指向——余分なものを取り去り極限まで整理されたかたち——まさにニート感覚こそ、ドクターが、そして我々が求めつづけていた結論だったので。

「エクシード」は、このニートな感覚に裏付けられた未来指向のユニットとして誕生しました。エアータービン、超音波スケーラー、プラケットテーブル、パノラマシャカステン、チェア……診療に欠くことのない数々の機能を先生の思いのままにチョイスしていただき、装備することが出来ます。

写真の機種はエクシードF8000型です。 改良の為、予告なしに仕様を変更することがありますので、ご了承下さい。

AXIS 90

DENTAL CHAIR

世界ではじめてパワー(油圧電動)ヘッドレストを実現。



スイッチひとつで、ヘッドレストが動きます。

デンタルチェアの命といわれるヘッドレストが、スイッチひとつでできる“電動”になりました。

リラックスした姿勢で口を大きく開けられるようになり、さらにチェアは自然な姿勢で、より広い口腔内視野が得られるように設計したアクシス“パワーヘッドレスト”。電動油圧技術とIC技術で実現した、90年代志向の新しいデンタルチェアです。

仕様
高さ / 420mm ● ストローク / 380mm ● チルト / リクライニング連動チルト
● プリセット / 2ポジションメモリー方式 ● オプション / フートスイッチ
降・寝起) ※標準価格 980,000円



タカラベルモント

本社 ● 大阪市南区島之内2-13-22 ☎(06)211-2831・大代表
支社 ● 東京都港区赤坂7-1-19 ☎(03)403-0311・大代表



Spaceline NEW[®] Standard

診療効率を高める究極の機能——ニュー スタンダード

診療の効率化が叫ばれているいまこそ、水平位診療の原点を極めたスペースラインが真価を発揮します。ニュースタンダードは、最新の電子技術で内部のメカニズムをグレードアップ。さらに、バキュームフィルターがハウジングの外側についてメンテナンスが楽になりました。

標準インストルメント	ニュースタンダード	ニュースタンダードII
エアベアリングハンドピースアストロン(AT-C)	● ○	● ● ○
アストロンホース回路	●	● ●
マイクロモーターハンドピーストルックス(TR-2ND)	●	●
スリーウェイシリンジ	● ●	● ● ●
バキュームシリンジ	●	●
サライバエジェクター(シャットオフバルブ付)		●

○は予備ハンドピースを表わし
(外観および仕様などは改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください)

■標準価格 スペースライン ニュースタンダード ¥3,080
スペースライン ニュースタンダードII ¥3,397
(オペレーティングツール1台付、バキュームモーター)

21世紀のファンタジーライフをひらく 株式会社 **モリタ** 東京都台東区上野2丁目11番13号 〒110 ☎(03)834-6161

株式会社 **モリタ** 製作所 本社工場・京都市伏見区東洪南町680番地 〒612 ☎(075)611-2141 / 久御山工場・京都府久世郡久御山町大字市田小字新珠城190 〒613 ☎(0774)43-7599
株式会社 **モリタ** 東京製作所 埼玉県与野市上落合355 〒338 ☎(0488)52-1315

相性ぴったり・ベリロイド

GC

ベリロイド《スティック》は、ベリコールアローマ/ベリコールアローマ《グリーン》とコンビで使う連合印象用寒天です。

いま、手軽な精密印象法として話題の

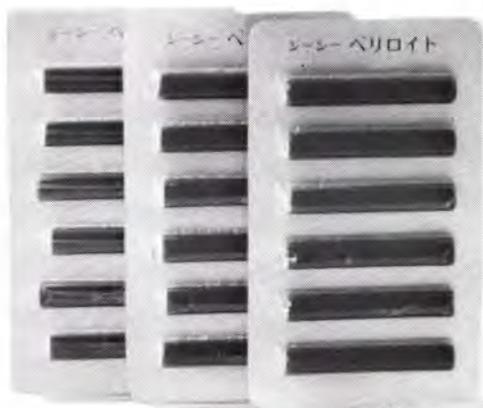
寒天とアルジネート印象材による連合印象法——

二つの印象材の相性の良否が精度や使い易さを、

大きく左右する点にもご注目ください。

好評＝ベリコールアローマ

/ベリコールアローマ《グリーン》との



相性を考えて開発されたベリロイド。

抜群の接着性、適度な流動性とコシの強さ、

そして識別容易な色調——

どこから見ても、生まれながらの名コンビです。

急速硬化性アルジネート印象材

ベリコールアローマ《グリーン》

連合印象用寒天印象材

ベリロイド《スティック》 **新発売**

寒天印象材用シリンジ

ベリシリンジ《スティック用》



而至齒科工業株式会社 デンタルインフォメーションセンター **G-C DIC**

〒113 東京都文京区本郷3-2-14 Tel.03(815)1511 ●東京DIC 03(816)6480(直)

お問い合わせ先 ●北海道DIC 011(271)7373(代) ●東北DIC 0222(71)8757(代) ●名古屋DIC 052(703)3231(代) ●大阪DIC 06(771)4682(代) ●広島DIC 0822(55)1771(代)
●九州DIC 092(441)1286(代) ●新潟出張所 0252(84)6622 ●徳島出張所 0886(25)8244 ●長崎出張所 0958(47)6104 ●鹿児島出張所 0992(68)0070

歯科技工学科

受験資格 高校卒業以上又は同等の者
定員 50名(男女)
修業年限 2カ年(昼間)
願書受付 昭和57年12月1日(木)より昭和58年1月27日(木)まで
入試期日 昭和58年1月29日(土)・30日(日)
試験科目 英語(A)・数学(I・IIA)・国語(現代国語)・
実技・面接

□歯科技工専修科

特徴 本専修科は、歯科技工士の資格を有する者にさらに
高度の専門教育を行い、特に臨床科目に重点を置き
マンツーマン教育を徹底させる。
受験資格 歯科技工士の資格を有する者(外国の資格も含む)
修業年限 2カ年(昼間)
定員 25名



顧問 東京歯科大学学長 松宮誠一先生



東京歯科技工専門学校

〒141 東京都品川区西五反田5-1-10 (東急目蒲線不動前徒歩2分) TEL03(492)4221代 ※入学案内 千共1,000円(切手可)

わずか金20%で
金合金の審美性を遂に実現!!



新発売

特許出願中(日、米、英、独、仏)

歯科鑄造用金パラジウムインジウム銀合金

優雅な黄金色

適合性

経済性

酸処理不要

4拍子そろったキャスト
アロイの革命です。

キンバレイ20E



日本歯研工業株式会社

本社：〒141 東京都品川区西五反田5-1-10 ☎03(492)0927(代)
支社：〒553 大阪市福島区海老江1-5-67 ☎06(458)7071(代)
上野営業所：〒101 東京都千代田区外神田6-10-6
吉岡歯材ビル2F ☎03(831)7031・7033